

町税収 4 億円増で、普通交付税不交付団体に

家入町長表明

「ハコモノ建設は一旦白紙にもどし徹底して
町民との対話を実施し計画作りをすすめる」

3月定例会

17 年度予算

◎全員賛成
○多数賛成

会計名		予算額 (下段は前年度)
○一般会計		86億9,196万円 (88億9,194万円)
特別会計	○国民健康保険	21億3,515万円 (20億5,341万円)
	◎老人保健	27億8,117万円 (27億6,881万円)
	◎町他五ヶ町村 共有財産	900万円 (708万円)
	◎公共下水道	11億3,017万円 (12億2,424万円)
	◎南部工業団地	250万円 (250万円)
	○介護保険	14億5,948万円 (14億410万円)
	◎農業集落排水	2億6,375万円 (4億4,048万円)
◎工業用水道事業		4,925万円 (4,606万円)

三月定例会は九日から二十三日まで十五日間の会期で開かれ、初日に家入町長の「施政方針」が述べられ、十六年度補正予算・十七年度予算・条例改正などの議案を審議しました。

十六年度一般会計補正予算で旧体育館跡地に計画されていた健康保健センターの設計費（六百五十万円）と南部コミュニティセンター設計費（七百万円）は、全額を減額補正提案されました。質疑で「建設計画を白紙にもどすのか？新たな計画を考えているのか？」との質問に対し、家入町長は「今年一年かけて徹底して町民との話し合いを行い、町民合意の計画を新たにつくるため白紙にもどした」と答えました。

その他の十六年度特別会計予算補正も含めて全員賛成で可決しました。

十七年度一般会計総額は、八六億九千万円で前年度なみの予算ですが、大きな違いは

歳入で町税収入が約四億円増える影響で、普通地方交付税の交付の見込みがない「不交付団体」となることがほぼ確実になったことで

県内の不交付団体は、大津町と苓北町の二町だけです。

議案質疑で家入町長の「施政方針」と予算案の関連が問われ、家入町長は「町づくりの計画、子育て・福祉の計画・公共交通計画などをつくるにあたり、徹底して町民との対話を実施して計画作りをすすめたい」と答えました。

討論の後、いずれも全員・または多数賛成で議案を可決しました。一般質問は十二名が行い、「施政方針」や町づくりについて活発な議論を行いました。

町固定資産評価員として、今村一也氏（現税務課長）の選任に同意しました。

不信任決議

（動議三件） 賛成少数で否決

提案理由の主旨

議長・副議長不信任の主な提案理由は「両議員は（改選前の議会で）議員研修についての報告書をきちんと提出していなかった」ということでした。

議長不信任

（賛成六人）

副議長不信任

（賛成六人）

監査委員不信任（賛成五人）

議員研修の報告書提出 経過の説明

大津町議会は、毎年委員会ごとに先進地研修を行っています。研修活動の結果については、各委員長が本会議で報告を行ってきま

た。

改選前の議会では全議員が研修報告書を提出することを申し合わせていましたが、報告書提出は絶対義務とはなっていませんでした。

二月に選出されたばかりの新議会として、これからの課題であることは間違いありません。

宇野議長・安永副議長・田代監査委員（議会議決（案）三件の動議が永田議員から提出され、提案理由の説明、反対・賛成討論の後、賛成少数で否決しました。